

モーリシャス概要



モーリシャス共和国は南西インド洋に位置し、モーリシャス本島、ロドリゲス島、アガレガ諸島、カルガドス・カラホス環礁、チャゴス諸島、そして230万平方キロメートルの排他的経済水域（世界で19番目の広さ）内にある他のいくつかの島々から成っています。モーリシャスは美しいビーチ、色鮮やかなサンゴ礁、豊かな自然景観、そして多様な文化で知られています。インド系、アフリカ系、中国系、ヨーロッパ系の人々によって形作られたこの130万人の住む熱帯の楽園は、様々な祭り、料理、伝統にその多様性が反映されています。また、英語とフランス語がクレオール語とともに広く話されているなど、言語面でも多様性が見られます。

かつては製糖産業に大きく依存していたモーリシャスは、金融サービス、繊維産業、観光業などを含む多角的な経済構造とともに、イノベーションとテクノロジーの拠点へと変貌を遂げようとしています。

絵画のように美しい景観だけでなく、モーリシャスはその温かいもてなしと高級リゾートとしても知られ、毎年100万人以上の観光客が訪れます。

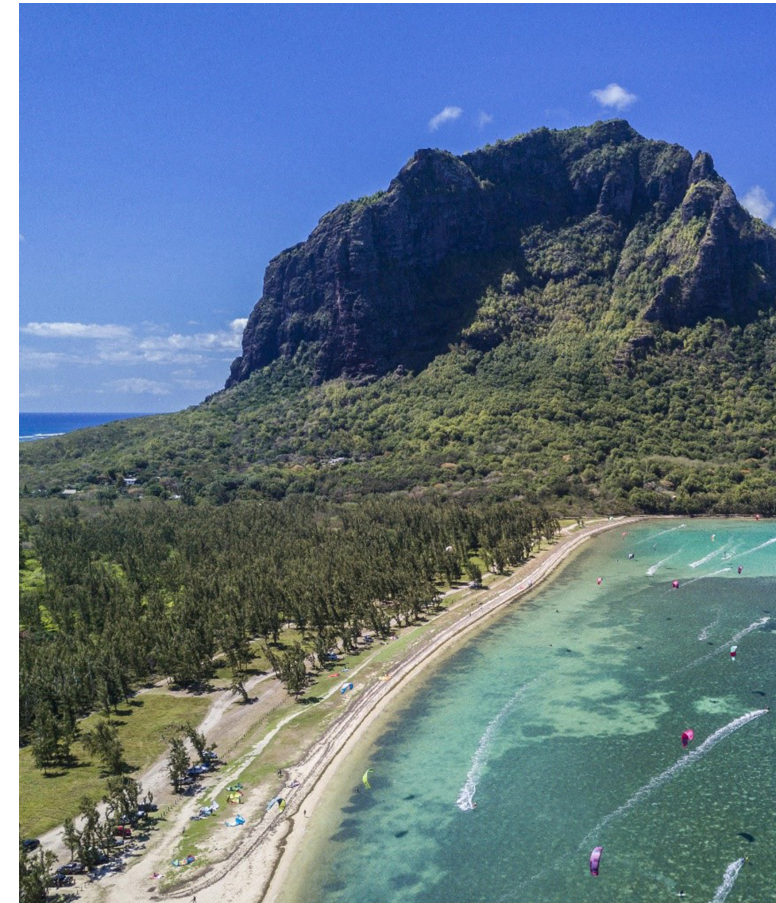
民主主義と政治の安定を基盤に、持続可能な発展を目指して取り組むモーリシャスは、地域および国際問題において積極的な役割を果たすことを目指しています。



©Expo 2025



モーリシャス館



豊かな未来を創る力

展示コンセプト

2025年大阪・関西万博のモーリシャス館では、持続可能な暮らしを向上させるための自然環境管理への取り組みを紹介します。

展示ではデジタル技術と実物の自然素材を用いて、これまでの成果と未来の生活に関する国のビジョンを紹介します。バーチャルリアリティによる没入型体験に、映像技術やゲーミフィケーションを組み合わせることで、来場者はモーリシャスの環境と共存する革新的な取り組みによる経済発展について、楽しみながら学ぶことができます。

モーリシャスの展示では、海洋環境の再生と保護、そこに含まれる資源の持続可能な活用についても紹介します。持続可能な観光のための優れた取り組みを含め、持続可能な経済活動のためのスキル開発にも焦点を当てます。また、変化する状況や高齢化社会に対応するための居住環境の適応と社会政策も紹介します。さらに、食料とエネルギーの結びつきに関する革新的なアイデアを紹介し、パートナーシップと国際協力の重要な役割を強調します。



持続可能な漁業

モーリシャスは地域社会の生活を支えるため、持続可能な漁業を推進し、海洋資源を保護する取り組みを行ってきました。政府は漁業活動が規制される海洋保護区 (MPAs) を設置しています。これらの措置は、乱獲を防ぎ、生物多様性の保全を確保し、魚類資源の健全性を維持することを目的としています。さらに、この国は伝統的な漁師たちに対して、財政的支援、研修プログラム、現代的な漁具へのアクセス促進、そして子どもたちへの奨学金という形で支援を提供しています。これらの取り組みは、生活水準の向上、食料安全保障の確保、そして将来世代のための海洋生態系の保護を目指しています。



海洋生態系の再生

サンゴ礁の劣化した地域の再生は、サンゴ養殖プロジェクトを通じて進行中です。これらのプロジェクトは島の周囲の異なる場所で実施され、環境に合わせた様々な方法が用いられています。マングローブは環境的に敏感な地域に再導入され、魚類や他の海洋生物の生息地とエサ場を提供しています。マングローブはまた、海岸を侵食や高波から守る役割も果たしています。再生イニシアチブの目的は、単に環境を保全するだけでなく、サンゴ礁と沿岸地域を中心とした海洋生態系の発展と繁栄を促すことで、より広範な効果を生み出すことにあります。



持続可能な廃棄物管理

モーリシャスでは持続可能な廃棄物管理の取り組みが実施されています。不法投棄撲滅に向け、特定地域には、分別された廃棄物を受け入れ、緑のごみを堆肥化する市民施設センターが設置されています。また環境に配慮した行動を促進するため、各家庭に堆肥用ゴミ箱も配布されています。モーリシャスは持続可能な廃棄物管理の実践において、担当者の能力向上を図るべく、国際協力機構 (JICA) と協力しています。環境に優しい宿泊施設、文化活動、地域社会の参加による地元市場など、持続可能な観光の取り組みも実施されています。廃棄物削減と水資源保全の取り組みは、すでにモーリシャスの観光産業の事業者によって採用されています。



営農型太陽光発電

小規模農家の収入向上のために技術活用を支援を行うことで、収穫量の増加、所得の向上、そして炭素排出量の削減につながっています。その一例として、農作業を制限することなく農地に太陽光パネルを設置し、電力販売による副収入を得る取り組みがあります。

